

- ニホンジカ、イノシシ等の害獣がわなにかかったことをLPWA通信(ZETA)を用いてメールでお知らせします。
- 中継器のマルチホップ機能により、今まで電波が届かなかった山間部でもわなの監視が可能です。
- 中継器、罨検知ボックスともに電池駆動で持ち運び、設置が容易です。

## 企業概要

### ◆マクセルフロンティア株式会社

神奈川県横浜市戸塚区品濃町549番地2 三宅ビル  
 TEL : 045-443-5840  
 Mail : zeta-support@maxell.co.jp

### ◆各種電子機器の受託開発および製造・保守

### ◆自社製品の設計・開発および製造

画像認識システム  
 組み込み向けソフトウェア  
 IoT機器



## 機器情報

### ➤ 機器の概要

#### ◆中継器(標準版)

大きさ : 90×120×85(mm)  
 重さ : 0.6kg  
 電源 : リチウム電池  
 ソーラーパネル、バッテリーが不要

#### ◆罨検知ボックス

大きさ : 85×145×33(mm)  
 重さ : 0.32kg  
 電源 : 単三乾電池×3本  
 約6カ月稼働

### ➤ 使用目的

捕獲通知 (くくりわな、箱わな、囲いわな)

### ➤ 対象獣種

ニホンジカ、イノシシ等

### ➤ 特長

- ◆中継器により、わなの監視範囲を容易に拡大
- ◆わなへの設置完了もメールでお知らせ
- ◆複数のメールアドレスに送信可能
- ◆専用Webアプリケーションで管理、設定

## 導入実績(実証実験)

### ➤ 導入市町村

山形県 上山市	山形県 小国町
宮城県 色麻町	島根県 松江市
岩手県 住田町	岐阜県 美濃加茂市
岐阜県 高山市	くまもと☆農家ハンター様
大分県 杵築市	

### ➤ 導入効果(利用者のご感想)

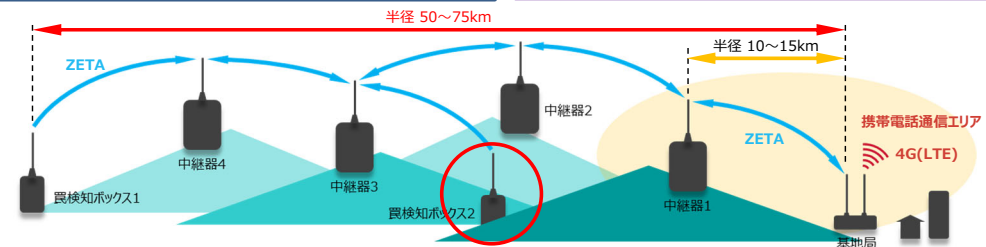
- ◆わな見回りの効率向上
  - ・メールがくるので事前に段取りが可能
  - ・見回りの予定が組め、時間を効率良く使える
  - ・掛かった時間が分かるので傾向が分かりやすく、なおかつGPSで場所が分かるので使い勝手が良い
- ◆IoTによる監視範囲の拡大
  - ・地形に沿って中継器を設置すれば、今まで通信できなかったところでも通信が可能になった
  - ・杉林の中でも良好に受信できたことは驚きだった



基地局

中継器(大容量版)

罨検知ボックス



## 活用技術

- LPWA(ZETA) 最大4台の中継が可能
- 低消費電力制御 独自技術による長時間稼働(特許出願中)
- 位置情報測位 わな設置時に位置を測定。メールから地図を表示

## イニシャルコスト、ランニングコスト(税抜き)

### ➤ イニシャルコスト

基地局(屋外用) : ¥330,000  
 (室内用) : ¥240,000  
 中継器(標準版) : ¥43,000 (さらに小型で安価な乾電池版を近日リリース予定)  
 (大容量版) : ¥72,000  
 罨検知ボックス : ¥29,800

### ➤ ランニングコスト

基地局(サーバ利用料含) : ¥1,000/台  
 中継器 : ¥500/台  
 罨検知ボックス : ¥500/台

※購入数により変わります。お気軽にお問合せください